

平成16年保育士試験問題

小児栄養

(選択式20問)

注意事項

- 1 指示があるまで開かないこと。
- 2 解答用紙について
 - (1) 鉛筆(HB又はB)を使用し、濃く、はっきりとマークすること。
 - (2) 受験番号・氏名(漢字・カナ)・生年月日を記入し、受験番号が正しくマークされているか確認すること。(正しくマークされない場合、採点されないことがあります)
 - (3) 各問に対し、2つ以上解答したときは誤りとする。
 - (4) 解答は次の例にならってマーク(記入)すること。
(例) 問5の解答が、3であれば解答用紙を
問5 1 2 3 4 5 マークすること。
良い解答の例 … (濃くマークすること。はみだしは厳禁)
悪い解答の例 … (解答したことにならない)
 - (5) 答えを修正した場合は、必ず「消しゴム」であとが残らないよう完全に消すこと。
 - (6) 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう注意すること。

問1 小児の栄養をめぐる問題についての記述である。適切な記述の組み合わせを一つ選びなさい。

- A 離乳初期食は、食品に慣れさせることも、栄養のバランスをとることもまだ必要がない。
- B 小児の生活習慣病予備軍の増加は、食生活の洋風化や食事リズムの乱れなどの食環境と慢性的運動不足などが影響している。
- C 幼児期の摂食機能の発達は、離乳食のような軟らかい食事を続けることで促進される。
- D 欠食は、学齢期から青年期にかけて増加するので、生活リズムを見直し、栄養管理に配慮する必要がある。
- E 孤食は、食欲が減退し、食事の楽しみも少なくなるなど、栄養バランスが偏るだけでなく、子どもの心の発達に問題が生じる。

(組み合わせ)

- 1 A B C
- 2 A C E
- 3 A D E
- 4 B C D
- 5 B D E

問2 平成12年三省（文部省・厚生省・農林水産省）策定の「食生活指針」についての記述である。正しい記述を一つ選びなさい。

- 1 家族の団らんや人との交流を大切にするために、試食会に参加しましょう。
- 2 夏場は、汗をかくので、食塩は一日50gを目標にしましょう。
- 3 主食としての穀類は、一日1回適量を摂り、糖質エネルギー比率を適正に保ちましょう。
- 4 お袋の味や地域の産物・旬の素材を活かす工夫や知恵は、次世代にも伝えましょう。
- 5 自分の健康目標をつくり、食生活を点検する習慣を持ちましょう。